



巻頭 photo 高尾山の生きものたち



カワセミ(カワセミ科)

春4月。水ぬるむ季節の到来で、水辺の生物たちの躍動のシーズンを迎えました。

掲載のカワセミを見て、「高尾山にカワセミが？」と訝る人もおいでになるかと思いますが、裏高尾町の小仏川にはカワセミが生息し、私自身、日影沢でも声と姿を2回観察しております。

カワセミは、「飛ぶ宝石」と形容されるほど美しく、日々撮影のため追いつけている人もいます。私も！

(写真・文 大作栄一郎氏)



タカオスマレ(スマレ科)

高尾山で最初に発見されたスマレです。丸形の葉の表面が赤褐色に色づくのが特徴です。ヒカゲスマレの一品種と言われ、その名の通り湿度の高い日陰を好みます。白い花弁に濃い紫色の筋が美しく映える、ファンの多いスマレです。

開花時期は4月上旬で、高尾山では1号路と日影沢で多く見ることができます。



赤褐色の葉

いろはの森

「TAKAO599MUSEUM」

八王子市は当センターの隣に、「高尾の里拠点施設」を平成27年度のオープンに向けて建設を開始しました。施設は「高尾の里」の中核的存在として約600㎡の広さに、「くつろぎ」、「展示」、「映像」の3つのゾーンで構成されています。

「くつろぎ」は、CAFE機能を持ち、内と外を連動して、外は芝生で自由にくつろげるスペースを、「展示」は、高尾山の豊かな生態系をより魅力的に伝える展示スペースを、「映像」は「NATURAL WALL」として、

壁面にダイナミックな映像を流すスペースを計画しています。

そのほか、「ギャラリー高尾」は市民の作品の展示や会議に、「599 BOOKS」は高尾に関する書籍を集めるなど、様々な内容が検討されています。

「高尾の里」は拠点施設や両駅、高尾森林ふれあい推進センターを一体として構想が練られており、当センターもオープンに向けて八王子市と連携を取っていくこととなります。

なお、「599」は高尾山の標高599mからきています。(き)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。



森林カレッジV 炭焼き

平成26年3月21日(土)、森林カレッジVを日影沢第二園地で開催しました。講師に杉浦銀治さんをお招きして炭に関する講義と、伏焼とドラム缶窯による炭焼の実技を行いました。

午前中は、4班に分かれて炭材の窯詰め、口焚き、熱分解が進むまでの行程を体験しました。カレッジ生は、煙に悪戦苦闘しながらも窯に熱を送り込むため、一生懸命焚き口の火をうちわであおいでいました。

午後からは、「炭焼は地球を救う」と題した杉浦銀治さんによる講義を行いました。炭の大きな特徴である「多孔質」を活かした効能が多岐にわたること、国内のみならずアフリカや東南アジアの国々で炭焼の指導を行い、資源の有効活用や農地の土壌改良が進んだこと等、杉浦さんがこれまで長年にわたり炭の研究を続け、積み重ねてきた実績にもとづく話を皆さん真剣に聞き入っていました。講義終了後は、花炭や杉浦さんの指導による燻炭作り等を行いました。

今回が、当年度最終の森林カレッジであったため、閉校式を開催しました。カレッジ生1人ひとりに修了証と記念品をわたし、代表の方から1年間を振り返っての感想を発表していただきました。

回収したアンケートからも、当日の炭焼体験および1年間とおしての森林カレッジに対する満足度の高さをうかがえる記述が多く、森林・林業に対する理解が少しでも広がっていくことへの期待がもてました。



★ 第17回 森林は友達!作文コンクール表彰式



平成26年3月14日(金)、関東森林管理局東京事務所と一般社団法人東京林業土木協会主催の作文コンクール表彰式が、江東区のホテルイースト21で行われました。1都6県の小学4～5年生が、森林管理署や当センターでの森林教室で体験したことを作文にしています。

今年の応募総数は1796作品。その中で当センターで森林教室を実施した、八王子市立みなみ野小学校の畑中乃ノ佳さんが最優秀賞(林野庁長官賞)を受賞しました。「木とつながった」という題名で、当センターでの森林教室の際、自然観察や丸太切り、木工体験をとおして木と対話し、木の大切さを心と体で感じたという経験をいきいきと表現していました。

今回も応募作品の全てが子どもの純粋な好奇心、豊かな感性にあふれたもので、次世代を担う子どもたちが森や自然の大切さを思う心が伝わる素晴らしいものばかりでした。



平成26年度森林ふれあい推進事業（協定イベント）のご案内

平成26年度森林ふれあい推進事業の実施にあたり、関東森林管理局長と協定を締結して、イベントを実施していただく団体とイベント内容を次のとおり決定しました。参加希望の方は各実施主体（申込宛先）までお申し込みください。

- (1) 森林インストラクター東京会（会長 石井 誠治）
- (2) 特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部（理事長 横山 信明）
- (3) DAIGOエコロジー村（村長 尾崎 正道）

平成26年度森林ふれあい推進事業実施内容

実施団体（申込宛先）	実施月日	締切期限	募集定員	イベント名	申込方法
森林インストラクター 東京会	5/10(土)	4/26(土)	30名(健脚)	陣馬から高尾まで三山踏破	往復ハガキ のみ
	5/15(木)	5/1(木)	30名	春の花いっぱい裏高尾ハイク	
	5/17(土)	5/2(金)	親子50名	高尾山 春の親子自然観察会	
	6/3(火)	5/20(火)	30名	セッコクと初夏の草花を訪ねて	
	6/27(金)	6/13(金)	30名	山歩きが楽しくなる高尾山の樹木ウォッチング	
	7/14(月)	6/30(月)	30名(中級)	爽快！夏の奥高尾 静寂の林道ハイキング	
	7/19(土)	7/5(土)	親子50名	夏休みの1日を親子で！	
	7/20(日)		親子50名	木下沢の溪流ジャブジャブ歩き	
	8/2(土)	7/19(土)	親子50名	夏休み！高尾の森で子ども樹木博士になろう！	
	8/23(土)	8/9(土)	親子50名	高尾山 夏の親子自然観察会	
	9/17(水)	9/3(水)	30名	秋の草花が呼んでいる 裏高尾さわやかハイキング	
	10/22(水)	10/8(水)	30名(健脚)	静かな秋色の北高尾健康ハイキング	
	11/9(日)	10/25(土)	親子50名	高尾山 秋の親子自然観察会	
	11/18(火)	11/4(火)	30名	高尾山ブナの黄葉とモミジ紅葉ハイキング	
	11/27(木)	11/13(木)	30名(中級)	高尾山の寺社林を歩く	
	12/5(金)	11/21(金)	30名(中級)	森林インストラクターがご案内 初冬の静かな奥高尾を歩く	
	12/25(木)	12/11(木)	30名	氷の華シモバシラ鑑賞と富士山展望陽だまりハイク	
	H27.1/9(金)	12/25(木)	30名	陽だまりハイク 正月の高尾山を楽しむ	
2/22(日)	2/7(土)	親子50名	高尾山 冬の親子自然観察会		
3/20(金)	3/6(金)	30名	春の里山を健康ハイク		
3/31(火)	3/17(火)	30名	春の三大競演 カタクリ・シュンラン・ベニシダレ ザクラを訪ねて		
特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部	8/2(土)	7/4(金)	親子50名	魚取りと植物観察Ⅰ	電子メール、 FAX、郵便 など
	8/3(日)	7/4(金)	親子50名	魚取りと植物観察Ⅱ	
	9/21(日)	8/15(金)	親子30名	草木染と植物観察	
	11/2(日)	10/3(金)	親子30名	ハイキングと植物観察	
DAIGOエコロジー村	6/14(土)	6/6(金)	10名	炭焼窯作り	電子メール、 TEL、FAX
	6/21(土)				
	6/28(土)				
	7/5(土)				
	7/12(土)				
	7/19(土)	7/11(金)	10名	炭焼初級体験Ⅰ	
9/20(土)	9/12(金)	10名	炭焼初級体験Ⅱ		
	11/27(木)	11/19(金)	※大学単位で 個別対応 (上限80名)	環境学習(大学生対象の炭焼体験 野外活動)	

【各団体応募宛先】

・森林インストラクター東京会

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1 高尾森林ふれあい推進センター内 森林インストラクター東京会 あて
※電話連絡先は別途公開する各イベントの担当者までお問い合わせください。

・特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-21-3-203 特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部 あて
TEL: 03-3366-1233 FAX: 03-5338-9692 Mail: moritodenen@live.jp

・DAIGOエコロジー村

〒193-0821 東京都八王子市川町244-132 NPO法人日本エコクラブ DAIGOエコロジー村 理事兼助役 川口武文 あて
TEL・FAX: 042-652-5969 Mail: kawagt@lilac.ocn.ne.jp



平成26年度森林カレッジ受講生募集

森林カレッジとは、一般の方を対象として、森林・林業を理解していただくために年に5回開催する講座です。専門家の講義や、高尾山の国有林で森林作業などを体験します。森林ボランティアや森林づくりに興味のある方、自然の中で思い切り汗を流したい方にお勧めです。

【カレッジⅠ】

平成26年5月24日(土)
内容:講義「森の見方」
現地見学
講師:一般社団法人森林・
自然環境技術者教育会
会長 桜井尚武氏

【カレッジⅡ】

平成26年7月26日(土)
内容:講義「森に学ぶ～森づく
り ことづくり ひとつくり」
体験作業(防火線刈払)
講師:東京農業大学教授
宮林茂幸氏

【カレッジⅢ】

平成26年9月27日(土)
内容:講義「樹木の分類(仮)」

内容等調整中

【カレッジⅣ】

平成26年11月1日(土)
内容:講義「木の成長としくみ」
体験作業(間伐もしくは
つる切り)
講師:元多摩森林科学園
園長 三輪雄二郎氏

【カレッジⅤ】

平成27年2月7日(土)
内容:講義「炭焼は地球を
救う」
体験作業(炭焼)
講師:調整中



- 募集人数:30名(応募者多数の場合は抽選)
- 対象者:森林・林業に興味があり、18歳以上70歳未満の健康で(傾斜地での作業や山歩き可能な方)全5回の講座に参加できる方
- 申込方法:往復はがきに、①住所、②氏名(必ずふりがなを入れる)、③年齢、④職業、⑤電話番号(自宅と携帯電話)と返信面の宛名を記入のうえ、〒193-0844 八王子市高尾町2438-1 高尾森林ふれあい推進センター「森林カレッジ」係までお申し込みください
- 申込締切日:平成26年4月24日(木) 必着
- 参加費等:傷害保険料の実費
- 日程・内容は変更する場合があります
- お問合せ等:土日祝日を除く開庁日の8:30~12:00、13:00~17:15の時間帯にお願いします

日影の森だより



今年も日影沢キャンプ場近くの沢に「ハナネコノメ」が咲きました。踏み荒らしとにならないようお楽しみください。



裏高尾日影沢管理協議会が解散

日影沢キャンプ場を利用者の協力金で運営するため平成12年8月に設立された裏高尾日影沢管理協議会が、諸般の事情から3月19日限りで解散することになりました。設立以来14年もの長きにわたり、利用者の皆様や関係者の皆様には協議会の運営についてご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今後は、当面の間、当センターが管理運営していきますので、引き続きご利用頂ければ幸いです。



編集後記

雪かきに明け暮れた冬を過ぎ、ようやく高尾に春の季節が巡ってきました。新生活が始まる学生や新社会人が笑いさざめきながら通り過ぎるのをまぶしく見守る私です。

編集者はフレッシュではありませんが、新年度を迎えた Forest 通信はフレッシュに、楽しく読める紙面を目指し、切磋琢磨する所存です。26年度もよろしくお祈いします。(ま)

Forest通信 No.303

発行:高尾森林ふれあい推進センター
Forest通信へのご意見・ご要望・イベントの
お申込み・お問合わせ先



林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1
TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

